

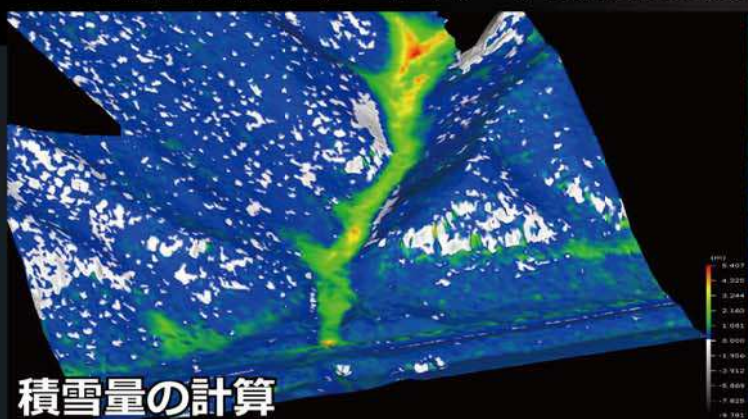


圧倒的な高速・高精度計測の時代へ

UAVレーザシステム「Air LiDAR」は写真測量では困難な高低差のある複雑な地形や、樹木などの植生下の地形計測など、立入困難な危険箇所などを上空から高精度に計測することができます。計測結果は三次元の点群データで出力することができ、必要に応じて等高線や断面図の作成が可能です。

Air LiDAR UAVレーザシステム エア・ライダー

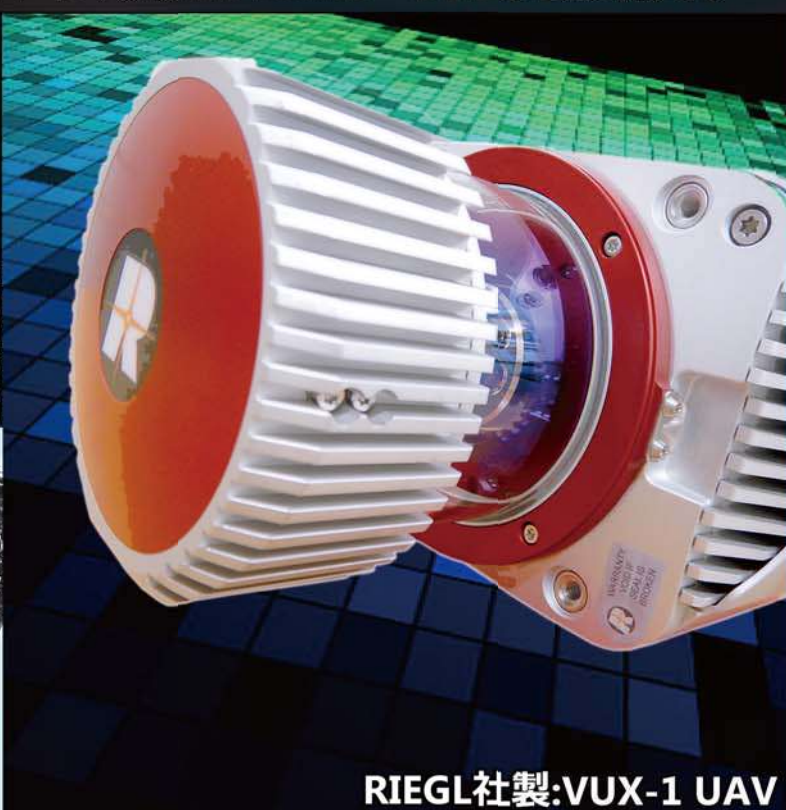
※ LiDARはLight Detection And Rangingの頭文字で、光検出と測距（レーザ）を意味します
Air LiDAR（エア・ライダー）は株式会社ズコーシャが保有するUAVレーザシステムの呼称です



積雪量の計算



文化遺産の3D化



RIEGL社製:VUX-1 UAV

**Air
LiDAR
スペック**

- 機体重量 / 約24kg
- サイズ / 2250mm×2250mm
- 飛行時間 / 約10分
- 駆動 / 電動モーター

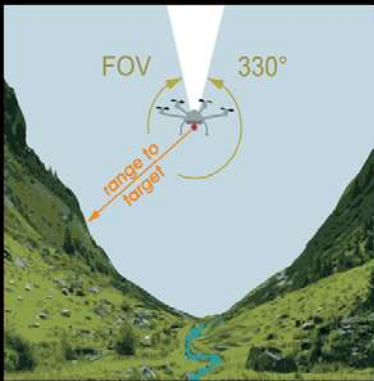
- アイセーフクラス / レーザークラス1
- 最短距離 / 3m
- 精度・確度 / 10mm・5mm
- 有効測定レート / 500,000点/秒
- 視野角 / 330°
- 最高測定飛行高度 / 350m (AGL)





今までにない三次元計測を

FOV (視野角)



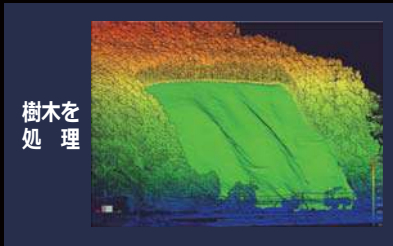
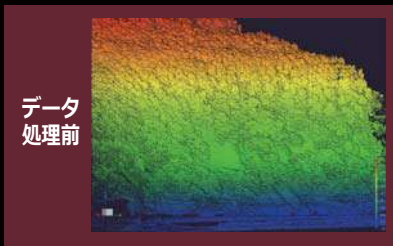
- 330°の超広角データの取得が可能
- レーザ位置より高い場所も計測可能

樹高の計測



- 樹木の高さを計測できる

地盤データの取得

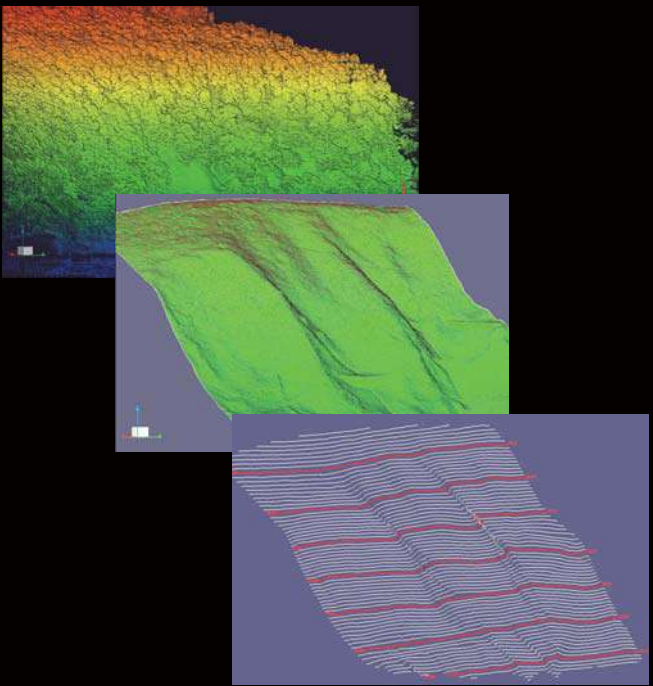


- 樹木等のデータを削除

マルチターゲット検出によるメリット

- 地盤データの抽出
- 植生越しの構造物データ取得
- 森林計測において樹幹までのデータ取得
- 降雪時のデータ取得

点群データから無限のデータへの変化 点から線、面から3Dの世界へ

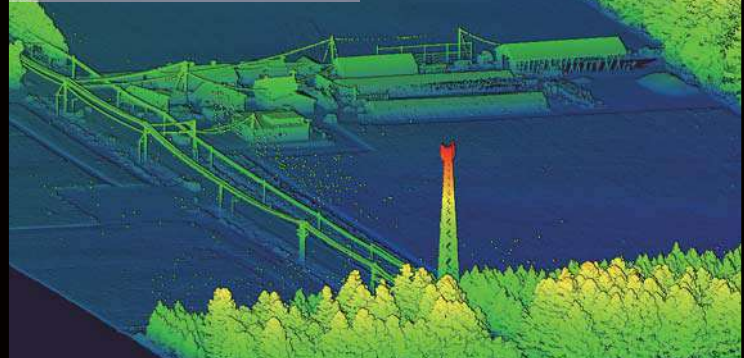


- レーザスキャナで計測した三次元点群データは、オフィスのパソコンで手軽に確認できる

計測事例 / 現況



計測事例 / 点群データ



UAVレーザ計測で
期待される用途

- 公共測量
- 災害対応
- 急傾斜地、落石調査
- 森林計測
- 砂防・河川調査
- 遺跡等の精密測量

